

WAKANKEN/NEKKEN JOINT SEMINAR

富山大学和漢医薬学総合研究所・長崎大学熱帯医学研究所

第9回交流セミナー

日時

令和元年 12月25日(水)
14時00分～17時40分

14:00 - 14:10 開会の挨拶

長崎大学 熱帯医学研究所 所長

森田 公一

富山大学 和漢医薬学総合研究所 所長

小松 かつ子

14:10 - 14:30

富山大学 和漢医薬学総合研究所 教授

早川 芳弘

「Role of NK cells in controlling cancer growth and metastasis」

14:30 - 14:50

長崎大学 熱帯医学研究所 教授

徳舩 富由樹

「赤内型熱帯熱マラリア原虫が赤血球をリフォームするまで」

14:50 - 15:10

富山大学 和漢医薬学総合研究所 准教授

小泉 桂一

「なぜ人は植物を煮て飲むのか?～植物スープに存在していた

新規ナノ粒子の発見とその免疫特性および生薬資源研究への応用～」

15:10 - 15:20

休憩

15:20 - 15:40

長崎大学 熱帯医学研究所 教授

南保 明日香

「エボラウイルス感染機構の解明」

15:40 - 16:00

富山大学 和漢医薬学総合研究所 准教授

當銘 一文

「抗マラリア薬開発を指向した天然薬物研究 III

～ Kongo Bololo からのフェニルプロパノイド縮合型イリドイド成分の探索～」

16:00 - 16:20

長崎大学 熱帯医学研究所 准教授

MOI MENG LING

「デング熱ワクチン・治療薬の開発のためのモデル生物の構築」

16:20 - 16:30

休憩

16:30 - 16:50

富山大学 和漢医薬学総合研究所 特命助教

楊 熙蒙

「認知症の新規治療戦略開発を目指した和漢薬研究」

16:50 - 17:10

長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 大学院生

田山 雄基

「漢方を用いた抗シャーガス薬の開発研究」

17:10 - 17:40

総合討論

「新しい医療体系の構築をめざして」

熱帯医学と和漢薬研究の新展開



会場

グローバルヘルス総合研究棟
1階 大セミナー室

【お問い合わせ】

長崎大学熱帯学研究支援課 米田

TEL: 095-819-7803 E-mail: soumu_nekken@ml.nagasaki-u.ac.jp